

## 1回目のワークショップを開きました！

9月5日(土)、残暑が厳しい中にも関わらず、44名の方にご参加をいただき、せせらぎ公園休憩所を会場として、初回のワークショップを開催しました。

## コロナ対策をして開催しました！

コロナ渦での開催は初めてでした。参加者の安全を第一に考えて、マスクの着用や手洗い、体温計測など協力していただき、ソーシャルディスタンスや換気などの対策も行って開催しました。

## 当日のプログラムです！

### テーマ：公園のことを良く知ろう！

**【目標】** 公園の良いところ、良くないところ、大切にしたいことについて、皆で考えよう。

### 9:30～ 全体会 (多目的室)

これまでに、どのように公園整備が行なわれてきたか、そして今回、公園を調査した結果について説明を行ない、公園の基礎的な情報を共有しました。



### 10:20～ 現地見学 (公園内)

これまで見ることの出来なかった「拡張区域」も見ることができました。(参加者は興味津々でした)



富士見坂下園地予定エリア



体育施設等整備予定エリア

### 11:00～ グループワーク (多目的室及び集会室)

5つのグループに分かれて、公園の「良いところ」「良くないところ」「大切にしたいこと」について、たくさんの意見をいただくことができました。



赤色グループ



青色グループ



黄色グループ



緑色グループ



紫色グループ



ワークシート

### 12:00～ 全体会 (多目的室)

グループごとに、出された意見を発表しました。また、参加者にアンケートへの記入をお願いしました。



赤色グループ



青色グループ



黄色グループ



緑色グループ



紫色グループ



ワークシート

## グループワークでの意見をご紹介します！

様々な視点で、幅のある意見が多数寄せられました。ここでは、5つのカテゴリーに分類整理して、全ての意見を取り上げています。

### 1. 公園の自然に関する意見です

#### 1-1. 自然と緑について

##### ■緑と水、生き物、自然が豊か

- ・緑が多く自然に富んでいる所が良い。都会とは思えない。
- ・皇居まで行かなくても壮大な自然を感じることができる。
- ・調布地域にこんなに広く緑いっぱいの公園があることは、他地域に胸を張れる。
- ・緑に安心感がある。大小の木が安らぎを与えている。
- ・樹木と水源のある風景が良い。湧水池があり、自然林が残っているところが良い。
- ・自然環境、生物環境の豊かさ。ここにしかない貴重な自然。動物、鳥、昆虫、サワガニなどの生物も見られる。

- ・自然の中に集まる鳥達のさえずりや虫の声が聞こえるところが良い。

#### ■木陰の涼しさ

- ・森は気温を下げる。町はエアコンの排気熱で温度が上がる一方なので、公園ではハコモノより木を植えてほしい。
- ・木が多くて安心でき、木陰があって涼しい。

#### ■自然の豊かさを大切に

- ・自然が豊富な事を大切にして、このまま残してほしい。
- ・緑は人間にとってだけでなく、鳥や虫にとってもオアシス。皆で共有したい。
- ・丸子橋方面の遠くからも見える緑の景観と静けさを大切に残したい。
- ・せせらぎ公園らしい自然を大切にしていこうとして、ラケットクラブの後に公園にした事を大切に、今後絶対に守ってほしい。そう思って人々が緑を守ってきた所が良い。

#### ■自然とのふれあい、環境教育

##### ●自然とのふれあい

- ・自然を感じる事ができて癒される。豊かな自然、生き物とふれあえる場を大切にしたい。
- ・子どものころに遊んだ森林が今も残っている。木登りができる等、自然の中で子ども達がのびのびと遊べる所がよい。
- ・子どもが樹や水にふれられる場が少ない。
- ・自然と人工物との共存を図る等、自然と共生できる所を大切にしたい。

##### ●環境教育機能の充実

- ・子どもたちが自然や生き物とふれあえるようにしたい。
- ・子ども達が自然を学ぶ場。自然観察や環境教育の場として活用したい。
- ・昆虫等の表示板を設置した方がよい。

#### ■自然環境の保全管理

- ・自然が保全されて大切にされてきた事がわかる。できる限り手を入れず、自然のままに残すべき。
- ・人間目線の考えが強くなると、人間も自然も生物もいずれ共倒れになる。
- ・樹木が伐採により減ってきた所は良くない。
- ・同じお金を使うなら、自然を守るために使うべきで、自然を破壊し、人工物を建設し、維持するために使うのは愚かだと思う。

#### ■生き物の生息環境の保全管理

- ・生物環境の維持に期待。自然、緑、生き物が残り、増える計画となるようにしたい。
- ・年を追う毎に静かな環境がなくなりつつある。ここ数年ではウグイス、メジロを見かける事が少なくなっている。

#### ■適度な手入れは必要

- ・湧水と樹木の適度な管理。土地の特性を活かす事を大切にしたい。
- ・自然が放置されすぎていて、全体的に手入れが足りていないと感じる。人も入れない状態である所が良くない。
- ・木が残り過ぎていて、風通しが悪い。剪定をして木を生かしてほしい。
- ・常緑樹が多すぎるので、落葉樹を増やしてほしい。
- ・長期的見地から多少の開拓のための犠牲はやむを得ないが、その分の植樹、移植樹に力を入れてほしい。古い木から新しい木への植木の必要性あり。
- ・豊かな自然の中に建物があるのは良いが、そのバランスが重要だと思う。
- ・蜂刺され対策。

#### ■持続可能な開発目標 (SDGS)

- ・公園の名にふさわしい自然あふれる公園にしてほしい。
- ・持続可能な開発目標(SDGS)の流れに合致するのでないか。

### 1-2. 湧水について

#### ■湧水を大切に

- ・湧水がある所が良い。水を大切にしたい。
- ・湧水量が減っている事が気になり。

#### ■湧水の活用・改良

- ・湧水を活かして。湧水の水路の活用をしたい。

- ・湧水を生かしたピオトープ。
- ・湧水の水量をもっと増やした方がよい。
- ・湧水池が整備されていない事が良くない。

#### ■湧水に支えられた生態系の保全

- ・公園内にサワガニがあちこちに見られる。貴重な自然を護る事は私達に課せられた大切な事。この自然を次世代、次々世代に残していく事が大切と思う。
- ・湧水の流れの中でカエルやおたまじゃくしがいる所が良い。

#### ■湧水と子どもの遊び

- ・子どもが湧水で水遊びできない。水質の問題？

### 1-3. 崖線の斜面緑地について

#### ■崖線の緑の保存

- ・国分寺崖線の緑を保存したい。
- ・崖線の一部がマンションで途切れている。

#### ■崖崩れの懸念

- ・高低差があり、がけ崩れが心配。

## 2. 公園の利用に関する意見です

### 2-1. くつろぐ、散歩等の利用について

- ・くつろげる環境。都会のオアシス。
- ・散歩に最適な広さ。散歩してほっとする環境。

### 2-2. ドッグランについて

- ・かつてはドッグランがあって良かった。今はない。
- ・ドッグランが認められていない所が良くない。

### 2-3. 時間帯による利用の傾向

- ・平日の利用者が少ない所が良くない。
- ・勤労者も使えるよう、夜間も使える施設がほしい。

### 2-4. 世代による利用の傾向

- ・老若男女が集まれ、楽しまれている。
- ・子ども達が、たくさん遠足でも訪れてほしい。家族でピクニックにも適した公園だと思う。

### 2-5. 防犯と安心安全について

- ・いつも人が多く、明るく安全な感じがする。この公園の親しみやすさを大切にしたい。
- ・安心して過ごせるよう、防犯面の整備が必要。
- ・見通しが悪く、夕方暗くなってくると少し怖く感じる。
- ・冬季の閉門時間(16:00)が早すぎる。
- ・防犯カメラを設置すると良い。
- ・防犯上、近くに交番があればいいと思う。各駅には交番があるが、多摩川駅にはない。
- ・喫煙所が無い所が良い。

### 2-6. 地域の活動について

- ・区民が集まりやすく、地域のイベントで活用しやすい。
- ・地域住民が集い憩える場。使いやすい公園にしたい。
- ・地域で活用できる広い土地と施設がある所が良い。
- ・地域住民等の利用者が育てる公園である事を大切にしたい。
- ・区が手を加え過ぎずに、利用者が公園を創る。あれこれ造らずに、広場のようにシンプルに。
- ・各エリアができれば上がったら素晴らしいイベントが楽しみ。田園調布らしい場所に期待。

## 3. 公園の施設に関する意見です

### 3-1. 公園内の施設について

#### ■園内の整備状況

- ・人の手があまり加えられておらず、過剰な整備がなされていない所が良い。
- ・自然を活かし、安全に使用できるように整備されている。
- ・長い間整備していないので、荒れている所が良くない。
- ・自然は大切にしたいが、公園自体の使い勝手が悪いのは×。
- ・自然と利便性との合体。自然が豊かなのも良いが、施設がきれいで使いやすいのも良い。

#### ■休養施設

- ・ゆっくりする場や休む所(ベンチ等)が少ない。
- ・多目的広場や芝生の周囲にベンチ、イスを増やしてほしい。

## ■ 便益施設

- ・便益施設等は、時代に合ったものにしてほしい。

## ■ 遊戯施設

- ・遊具等の人工的な施設が少なく、思い思いの使い方ができるところが良い。
- ・幼児が遊べる所が少ない。

## 3-2. 公園へのアクセスについて

### ■ 駅近である

- ・駅の目前に広がる公園でアクセスの便が良く、地域・区民の方々が集まりやすい。
- ・駅を出てすぐ大自然に囲まれるところが良い。

### ■ 出入口が限定的

- ・公園の出入口を増やしたい。特に西側からのアクセス。

### ■ 車両のアプローチが弱い

- ・障害者や老人にとって、車でのアプローチに不備あり。

## 3-3. 園路・階段とバリアフリー

### ■ 高低差による上下の分断

- 崖線により、上の広場と下の広場が分断されている。
- 高低差により、移動・歩行が困難。

### ■ 階段等の段差があぶない

- ・ベビーカーでの散歩が大変。
- ・階段（大山坂等）は段差が異なるため足をとられやすい。
- ・足場が悪い所や石畳が怖い所がある。

### ■ バリアフリーをめざして

- ・危険な段差がある箇所のチェックが必要。
- ・階段等の凹凸はなるべくなくし、階段を小幅にする等、昇り降りをしやすくしてほしい。
- ・エスカレーターがあれば良い。

### ■ 自然と調和した園路へ

- ・自然を破壊しない程度の観察路の整備が必要。
- ・自然を生かした散歩道を大切にしてほしい。
- ・高低差は自然の事なので仕方ない。なるべく改変せず、循環バスを走らせる事で解消するような考え方もあるのでは。

## 4. エリア・場所ごとの意見です

### 4-1. 富士見坂園地エリアと富士見会館について

#### ■ 今ある自然を大切に

- ・立入禁止だったためか、今迄自然がよく保全されている。
- ・人が入らない事で、貴重な生態系が形成されている。
- ・昔ながらの自然が残っている所が良い。
- ・自然のままの生態系があり、貴重な鳥やカエルがいる。
- ・豊かな自然はなるべく手をつけず、公園として活用したい。
- ・できるだけ現状を保存し、自然を守る事が大切。一度なくしたら元に戻らない。

#### ■ 自然観察・環境教育の場として

- ・特別保護エリアとして、一般の人が自然観察に利用できるようにする。
- ・子供に天然のピオトープをみせられる。
- ・湧水環境を観察できるようにしたい。
- ・入口に自然保護係員を常駐させてはどうか。

#### ■ 観察路をつくる

- ・散策路を整備し、駅から富士見会館（出張所になる）までのアクセスを確保。エレベーター等を拡充し、シニア層がアクセスしやすいようにする。

#### ■ ある程度の整備は必要

- ・整備、手入れがなさをすぎる。害虫（カ等）の発生源になりかねないので、ある程度の整備は必要。

#### ■ 駐車場の計画について

- ・駐車場の計画があるが、これだけ駅近なら必要ない。
- ・駐車場のためにコンクリートで地面を被うのは許せない。
- ・駐車場の収入を観察路等の整備費にあてるとよい。

#### ■ その他の意見

- ・音楽ホールの的なもの等はどうか。

#### ■ 富士見会館が出張所に?

- ・富士見坂の坂上はアクセスが悪く、出張所には不便。

- ・富士見会館が出張所になると決まった経緯が不明。移転を考え直せないか。

#### ■ 富士見会館を避難所に

- ・水害リスクの少ない高台なので、避難所に適している。

## 4-2. 体育施設とその周辺エリアについて

### ■ 利用のしかた

- ・サッカー、バスケットボール、バレーボール等の多様な球技、スポーツに対応した練習場。
- ・シニアが天候にかかわらず運動できる場所。

### ■ 規模について

- ・中学校体育館同等規模。

### ■ 防災面

- ・防災拠点、災害時の避難所としても活用。
- ・崖線下の住民は崖線上まで避難しにくい。
- ・なるべく崖線から遠ざけ樹木でバッファーを作る。
- ・せせらぎ公園が浸水する事はない。

### ■ 併設施設について

- ・バスケットボール等の練習ができる多目的広場。
- ・駐車場。
- ・幼児・児童が遊べる場所。

### ■ 価値

- ・調布地域として広い土地があり、大きめの施設の利用可能性があるので大切にしたい。
- ・活用しきれていない土地の有効活用になる。

### ■ 他地区との比較

- ・調布地域には、避難所として使える体育施設がない。
- ・大森地域等には、体育施設や子どもの遊び場が多い。

### ■ 自然との関わり

- ・利用料金をとって、自然を守るために使用しては？
- ・自然とうまく調和させ、自然を大切に。

### ■ 効果について

- ・シニアの運動機会が増え、医療費削減につながる。

### ■ 計画への懸念

#### ● 計画の進め方が不透明では？

- ・建設ありきではなく、区民の意見をきちんと聞いた上で整備方針を決めるべき。
- ・区民の知らぬ間に計画を進め、勝手に体育施設の建設を決めないでほしい。
- ・他の地区に体育施設があるからといって、同じような建物はいらない。
- ・駅前故に営利目的の開発という思惑になりやすい。
- ・税金の無駄使いは避けてほしい。
- ・利用頻度の低いものにならないよう計画するべき。

#### ● 本当に適地なの？

- ・計画地は、浸水の恐れがあるのでは？
- ・避難に使う時は、広場に仮設テントを建てればよい。
- ・計画地の地盤は緩く、基礎工事費用がかさむのでは？
- ・崖崩れの恐れがあるのでは？
- ・富士見会館に体育・避難所の機能を持たせ、せせらぎ公園に小さな出張所をつくったほうがいい。

#### ● 施設過多では？

- ・自由な空間、自然との調和が大切で、施設を作り過ぎないように。この公園にこれ以上建物は不要。
- ・樹木を伐採してまで人工的な建物を建てないで。
- ・体育施設は他所に建てて、ここにしかない自然を大切に。

#### ● 広場として活用しては？

- ・運動、スポーツのできる場所として残してほしい。
- ・サッカーやバスケットボール等のコートとして活用。
- ・子ども達が思い切り遊びまわられる所にしてほしい。
- ・とりあえず広場として開放して、様子をみればよい。

## 4-3. 文化施設とその周辺エリアについて

### ■ 施設への期待

- ・調布地区に初めてできた文化施設。
- ・公園には室内施設が少ないので文化施設の開設が楽しみ。
- ・地域の子供達や青少年、子育て中の親子が集いやすい施設運営を。

- ・大いに宣伝し、多く人に利用してもらいたい。
- ・集会室で勉強会等ができるとう良い。
- ・軽食を食べられる所、カフェをつくってほしい。

#### ■施設への懸念

- ・文化施設の室外機が通路に並び、歩く人は熱いのでは。
- ・自然を破壊しないよう、使用法を十分に検討して。
- ・使いやすい施設なのか疑問。ただの広場だったころの方が良かった。

#### ■整備までの経緯について

- ・文化施設を建てる前にワークショップをし、合意の上で建設してほしかった。

### 4-4. 管理ヤードとその周辺エリアについて

#### ■花見に適したサクラがある

- ・サクラの花見が一番良い場所なので、管理用地とするのもったいない。

#### ■この付近は浸水した事ある

- ・52~53年前にどりの坂下が浸水した事がある。

#### ■駐車場・駐輪場について

- ・管理ヤード付近の駐車・駐輪場が少なくなった。
- ・駐車場をこれ以上多くしない事。今の位置で十分である。
- ・駅近の公園なので駐車場は不要。
- ・大型バスの駐車は、多摩川の河川敷を活用してほしい。

### 4-5. 休憩所跡地について

#### ■休憩所跡地の使い方

- ・軽食ができるようにつくってほしい。

### 4-6. 公園内のオープンスペースについて

#### ■広々とした公園

- ・広々とした場所が多い。
- ・自然の中で子どもたちが遊べるように、広いスペースが確保されている。
- ・コロナと共存する今後の世の中においては、子どもたちが気にせず遊べる広大な屋外スペースが大切。

#### ■子ども達のがびのび遊ぶ広場

- ・多目的広場等で、子ども達のがびのびと遊べる所が良い。
- ・全体的に子ども達が自由に遊べる場所としてほしい。
- ・子どもが自由に遊べる広場を大切に残してほしい。
- ・子ども達の大切な居場所。

#### ■スポーツのための広場

- ・フェンスで囲まれた広場でスポーツやボール遊びができる所が良い。
- ・予約しなくても自由にボール遊びができる広場(サッカー、バスケットボール)があるとよい。
- ・ボール遊びをするスペースが少ない。
- ・ボールやバットを使った野球等の遊びができない所が良くない。

#### ■文化施設整備による広場の減少

- ・以前あった多目的広場は貴重なスペース。時間帯により幼児から大人まで楽しんでいた。自由な広場をなくそうとしている事は許されない。
- ・広場を前の様にしてほしい。

## 5. 検討方法その他に関する意見です

### 5-1. 検討プロセスについて

#### ■住民参加・ワークショップ

- ・住民の意見を聞いてくれるこのようなワークショップは、今回がはじめて。
- ・ワークショップで多様な意見を出し合う事自体は良い。一方で、費用に関する情報共有がなされない中で、どちらが良いかの妥協点を見出していく事は難しい。
- ・建設的な意見の交換の場として、より機能させるのであれば、目的とゴールをより共有したい。
- ・人々が自由に話し合い、みんなの公園をみんなで考えられるようにすべき。誰も知らないうちに何かが決まるような事が決まってしまうようにしなければならない。

- ・根本的な全体の計画については、時間をかけて話し合う事が大切。これまではバラバラの感じが多かった。その段階から区民の意見を聞いてほしかった。
- ・町会の意向は、必ずしも住民の意思を代表したものとはいえない。
- ・大人だけでなく、子ども達(田小の子ども等)の意見も聞いて決めるべき。
- ・じっくり時間をかけて見ないとわからないが、良い方向へ考えていきたい。
- ・建物を作るか否か、緑をどのように残すか、今だけでなく20年、30年、50年先の事を考えて決めるべき。
- ・公園で活動する市民団体やボランティアの数が少ないように感じる。

#### ■調布地域のまちづくりについて

- ・調布地域は、元々区の施設が少なかった。
- ・子ども達がボール遊びができるような公園が他にない。
- ・他の地区に大きな集会場があるからと言って、ここにも作ろうという考えには賛同できない。他にない田園調布の誇れる自然公園を整備してほしい。
- ・この公園が、調布地域の環境の良さを内外に発信する拠点となしてほしい。
- ・公園を中心とする新しいまちづくりの拠点として期待。

### 5-2. 周辺環境との連携について

- ・多摩川台公園には、サクラ、アジサイ等の見どころがあるので、この公園には違うものがあるとよい。多摩川台公園との相互補完、役割分担が大切。
- ・グリーンフェスタに使える広場があると良い。
- ・湧水、特に第3湧水は六郷用水につながっている。沼部方面の散歩道へどんどん水が出てほしい。
- ・隣接する宗教団体施設との共存。
- ・電車の騒音のあつかい。

### 5-3. 費用対効果について

- ・費用対効果を考えてほしい。環境や予算、税金の負担を考えて決めるべき。

### 5-4. 管理について

- ・管理が行き届いている。
- ・管理の方で、とても高圧的な言い方を子どもにする人がいるのが気になる。

(グループワークの意見は以上です)

## 今後の予定です!

### ■第2回ワークショップ

- 日時・場所：10月31日(土) 9:30~12:30/公園休憩所にて
- 予定テーマ：公園の残すべき所と変えても良い所を考えよう!

### ■第3回ワークショップ

- 日時・場所：11月28日(土) 9:30~12:30/富士見会館にて
- 予定テーマ：公園のあるべき姿について考えよう!

### ■第4回ワークショップ

- 日時・場所：12月19日(土) 9:30~12:30/富士見会館にて
- 予定テーマ：公園の場所ごとに改修の方向性を確認しよう!

## ご参加くださったみなさまへ

皆様方のご協力により、貴重なご意見をたくさん伺うことができました。

この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

残りのワークショップにおいても、変わらずにご協力いただけますよう、よろしくお願いいたします。